

第21回ジャパンオープンハンドボールトーナメント

試合結果・戦評報告書

競技日	8月 9日 (火)	試合番号	Aーみ	回戦	決勝
種 別	男子	会 場	松山市総合コミュニティーセンター体育館		
Aチーム名			Bチーム名		
HC和歌山			HONDA		
得点合計	小 計		小 計	得点合計	
26	16	前 半	10	19	
	10	後 半	9		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦 評

前回覇者HC和歌山に、三年ぶりの決勝進出を決めたHONDAが戦いを挑んだ。

先制したのはHONDA。1分20秒、⑥キャプテン竹田がステップシュートをきめると、HC和歌山もすかさず⑨栄がミドルシュートを決め、その後2分58秒⑦宮元がステップシュートを決め、2対1とする。両チームともにしっかりと足を動かしたDFを駆使し、HONDAの⑩岡田、⑬瀬元、⑦早川が一本一本気を吐きながらシュートを決めたかと思うと、HC和歌山も⑪安松らの活躍で点を取り返すという、一進一退の攻防が続いた。

試合が動いたのは13分過ぎ。HC和歌山が華麗なダブルスカイシュートを決めたのを皮切りに⑬水井らの活躍により4連取。HONDAはタイムアウトを取ってすばやい帰陣を促し、速攻を仕掛けるも和歌山の戻りが早く、なかなかシュートまで行けない。その間、HC和歌山は⑯本田のループシュートや⑭永井のミドルシュート等で確実に加点。⑫GK前田の好セーブも光り、16対10とHC和歌山が6点リードで前半を終了。

巻き返しを図りたいHONDAは⑩岡田、②伊藤のサイドシュート等で果敢に攻めるものの、幾度のシュートチャンスを相手GKに阻まれてしまい、なかなか点差が縮まらない。HC和歌山は堅いDFからの速攻を何度も繰り出し、テンポよく加点。HONDAの追撃をかわし、2年連続の優勝を決めた。

(JOT愛媛大会 男子決勝 HC和歌山 — HONDA)



記載者氏名	村上 純也
送信日時	8月 9日 (火) :
送信者サイン	